

株主通信

第94期

(2019年4月1日～2020年3月31日)

JANOME



YEARS
since 1921



reddot winner 2020



蛇の目ミシン工業株式会社

証券コード：6445

当社は2021年10月16日に創業100周年を迎えます

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第94期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済は、米中貿易摩擦問題の長期化や米国とイランの対立激化による中東情勢の緊迫などの地政学的リスク等、不確実性の高まりから景気の減速傾向が強まりました。さらには、中国武漢市を発生源とする新型コロナウイルスは、世界中で急速に感染が拡大し、特に米国や欧州においては強力な外出禁止令のもと、人々の移動が制限されるなど、経済活動を停止せざるを得ない状況となっております。

わが国経済におきましても、米中貿易摩擦問題の影響から製造業を中心に悪化傾向が続きました。また、1月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、個人消費の鈍化やサプライチェーンの寸断により、製造・非製造業ともに企業の景況感は急速に悪化しており、さらなる景気減速への懸念が強まっています。

当社グループにおきましては、中期経営計画のもと、家庭用機器事業では高付加価値製品の販売に一層注力し、産業機器事業においては新規顧客開拓によるさらなる販路拡大を目指すなど、各種施策を講じてまいりましたが、当社グループを取り巻く厳しい経営環境にあつて情勢を好転させるまでには及びませんでした。

この結果、当社グループの**当期の売上高は35,521百万円(前期比2,631百万円減)**、**営業利益は1,158百万円(前期比7百万円増)**、**経常利益は1,049百万円(前期比309百万円減)**、**親会社株主に帰属する当期純利益は424百万円(前期比456百万円減)**となりました。

当社グループは、今後ともみなさまからいただいた信頼を糧に、長期的ビジョンに立った持続的成長を図りつつ、収益力の高いグローバル企業を目指し、継続的な企業価値向上に向け努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目次

- P. 1 株主のみなさまへ
- P. 2 連結決算ハイライト
- P. 3 セグメント別概況
- P. 5 連結財務諸表(要旨)
- P. 6 会社概要 他

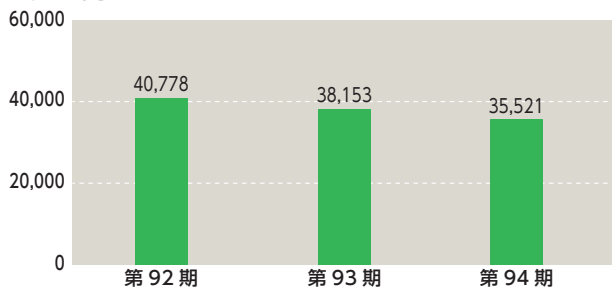


代表取締役会長CEO **大場 道夫**

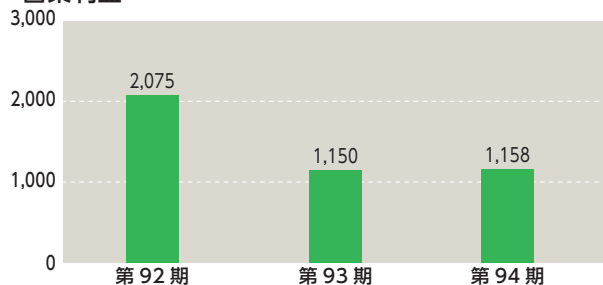


代表取締役社長COO **齋藤 真**

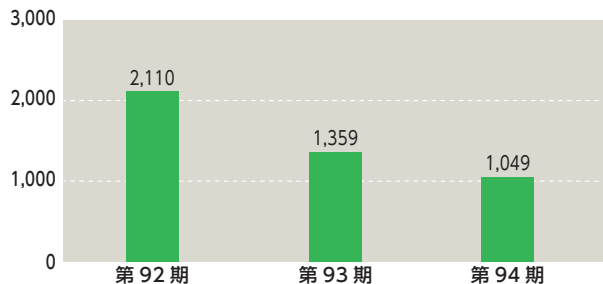
●売上高 (単位: 百万円)



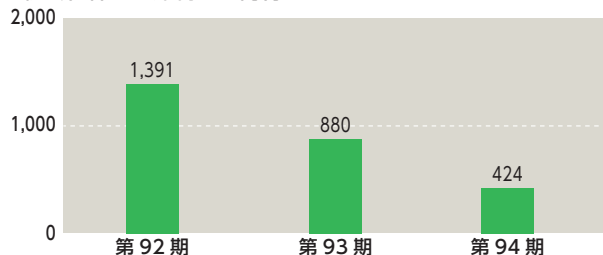
●営業利益 (単位: 百万円)



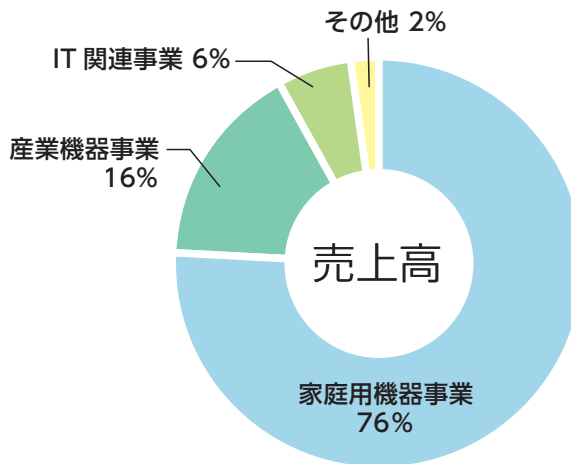
●経常利益 (単位: 百万円)



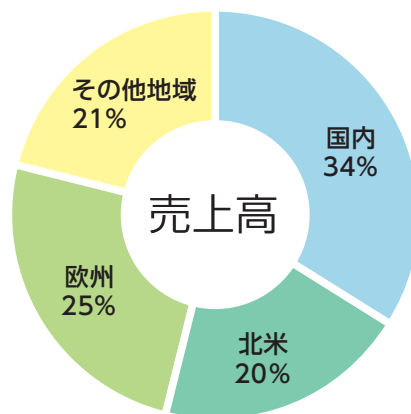
●親会社株主に帰属する純利益 (単位: 百万円)



●売上構成比



●売上高地域別内訳



※詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.janome.co.jp/ir/index.html>

家庭用機器事業

家庭用機器事業におきましては、当期新規投入した海外向けコンピュータミシン「Continental M7 Professional」が世界で有数のデザイン賞を受賞し、国際的に高い評価を得ており、特に北米市場ではこれら高付加価値製品の拡販に努めたことで、緩やかな回復傾向が続きました。対して、欧州市場は依然として苦戦が続き、新興国市場においても現地通貨安の影響から低調な動きとなりました。また、ロシア市場は第4四半期において復調を見せたものの、他地域の販売不振をカバーするまでには至りませんでした。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、特に海外販売子会社においては企業活動を制限せざるを得ない状況となるなど、厳しい環境となりました。

一方で、感染対策による外出制限下、家での過ごし方が注目され、また手作りマスクに関心が集まるなど、新たなミシン需要への契機ともなっております。

その結果、海外・国内ミシンの販売台数は133万台（前期比12万台減）、家庭用機器事業全体の売上高は26,856百万円（前期比1,364百万円減）、営業利益は1,209百万円（前期比476百万円増）となりました。

事業概要

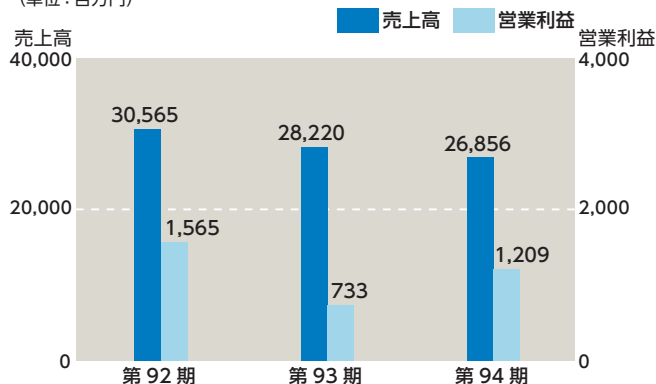
ミシン・24時間風呂等の家庭用機器の製造・販売



Continental M7 Professional（海外向け）

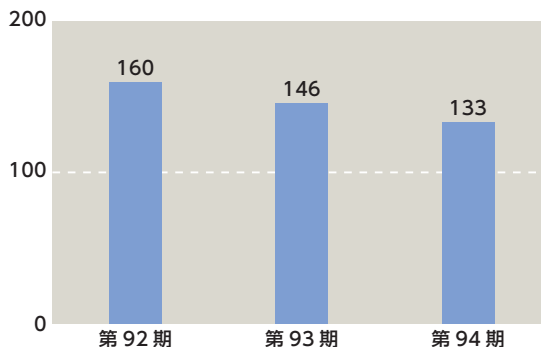
売上高・営業利益

（単位：百万円）



ミシン販売台数推移

（単位：万台）



産業機器事業

事業概要

卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

産業機器事業におきましては、メキシコにおける新たな営業拠点の開設など、有望市場での販売拡大に向けた施策を着実に実行してまいりました。また、卓上ロボット・サーボプレスとともに顧客ニーズに対応した新製品を投入し、積極的な販売活動を展開いたしました。さらには自動化を進めたい中小企業からの要望に応え、ねじ締めロボットの自動化設備一式を提供し、すぐに稼働できる新たな導入サポートサービスも開始いたしました。

しかしながら長期化する米中貿易摩擦問題の影響から中国市場の停滞が続く中、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、経済の先行き不透明感が増し、国内外で設備投資を手控える動きが強まりました。また、主要取引先である自動車関連企業の生産停止による影響から、卓上ロボット・サーボプレスならびにダイカスト鋳造関連事業は、大幅な受注の減少が続きました。

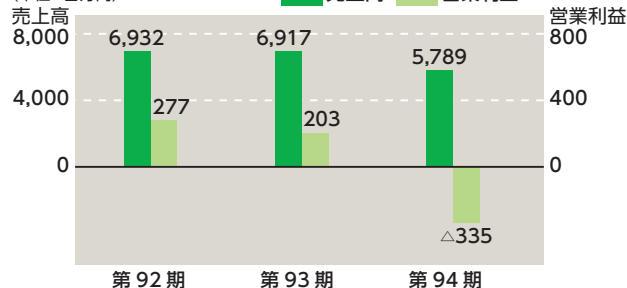
以上の結果、**産業機器事業全体の売上高は5,789百万円(前期比1,127百万円減)、営業損失は335百万円(前期は203百万円の営業利益)**となりました。



サーボプレス「JPシリーズ5」

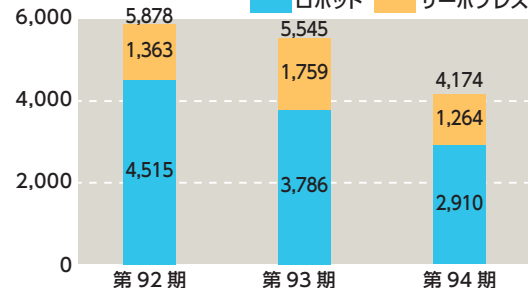
売上高・営業利益

(単位:百万円)



ロボット・サーボプレス販売台数推移

(単位:台)



IT関連事業

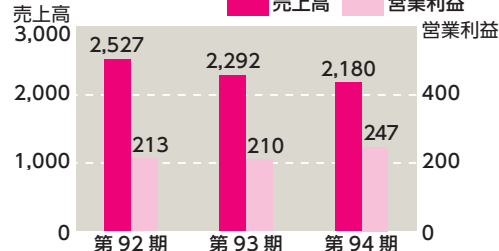
事業概要

ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託

ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業の売上高は2,180百万円(前期比111百万円減)となりましたが、採算性の改善に努めた結果、営業利益は247百万円(前期比36百万円増)となりました。

売上高・営業利益

(単位:百万円)



連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

区分	当期	前期
	2020年3月31日	2019年3月31日
資産の部		
流動資産	22,078	22,689
固定資産	27,281	27,967
① ▶ 資産合計	49,360	50,657
負債の部		
流動負債	15,559	16,363
固定負債	8,419	8,420
② ▶ 負債合計	23,979	24,783
純資産の部		
株主資本	19,015	18,851
その他の包括利益累計額	5,534	6,169
非支配株主持分	831	852
③ ▶ 純資産合計	25,381	25,873
負債純資産合計	49,360	50,657

POINT

①資産の部

流動資産は、商品及び製品の減少等により、前期に比べ610百万円減少いたしました。
固定資産は、有形及び無形固定資産の減価償却等により、前期に比べ686百万円減少いたしました。

②負債の部

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、前期に比べ804百万円減少いたしました。

③純資産の部

為替換算調整勘定の減少等により、前期に比べ492百万円減少いたしました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区分	当期	前期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	35,521	38,153
売上原価	21,249	23,207
売上総利益	14,272	14,945
販売費及び一般管理費	13,114	13,794
営業利益	1,158	1,150
営業外収益	211	376
営業外費用	320	167
経常利益	1,049	1,359
特別利益	4	35
特別損失	131	17
税金等調整前当期純利益	922	1,377
法人税等	460	495
非支配株主に帰属する当期純利益	37	1
親会社株主に帰属する当期純利益	424	880

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

区分	当期
	2019年4月1日から2020年3月31日まで
④ ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,512
⑤ ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△677
⑥ ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△298
現金及び現金同等物の当期末残高	6,487

④営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益の計上、たな卸資産の減少等により1,512百万円の資金の増加となりました。

⑤投資活動によるキャッシュ・フロー

製造子会社の機械設備や新機種に係る金型等の有形固定資産取得による支出709百万円、ソフトウェア等の無形固定資産取得による支出173百万円などにより、677百万円の資金の減少となりました。

⑥財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払等により、298百万円の資金の減少となりました。

「定時株主総会決議ご通知」 郵送廃止のお知らせ

当社ではこれまで、定時株主総会における議案の決議結果につきまして、定時株主総会終了後に、「定時株主総会決議ご通知」を株主のみなさまへ送付しておりましたが、今回より同ご通知の郵送を廃止させていただきますこといたしました。

つきましては、同ご通知の郵送に代えて、当社ウェブサイトにて決議結果をご案内させていただきますので、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト：https://www.janome.co.jp/ir/ir_meeting.html

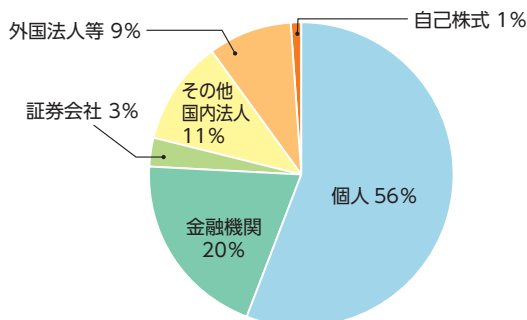
●会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	蛇の目ミシン工業株式会社
英語表記	JANOME SEWING MACHINE CO., LTD.
本社	東京都八王子市狭間町 1463 番地
創業	1921 (大正10) 年 10 月
設立	1950 (昭和25) 年 6 月
資本金	113 億 7,300 万円
連結従業員数	2,912 名

●株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数	19,521,444 株
株主数	12,189 名 (前期末比 183 名減)

株主構成比率 (所有株式数ベース)



●役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役 会長 C E O	大場 道夫	取締役	中島 文明
代表取締役 社長 C O O	齋藤 真	取締役 常勤監査等委員	先槻 光弘
取締役 専務執行役員	高安 俊也	取締役 監査等委員	中澤 真二
取締役 常務執行役員	土井 仁	取締役 監査等委員	田中 敬三
取締役 常務執行役員	川口 一志	取締役 監査等委員	栗岩 恭

●執行役員・フェロー (2020年6月26日現在)

常務執行役員	保坂 幸夫	執行役員	石川 哲
執行役員	關 伸一郎	執行役員	小林 裕幸
執行役員	木下 浩昭	執行役員	岩間 英紀
執行役員	大島 毅之	執行役員	山本 慎一郎
執行役員	雨宮 章雄	執行役員	舌間 聖一郎
執行役員	黒田 浩一	シニア・フェロー	比留間健一郎

● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で
行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により
電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載の URL <https://www.janome.co.jp/>

株式のお手続き等についてのご注意

1. 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

表紙：コンピュータミシン [Continental M7 Professional] (海外向け)

◇外観の美しさだけでなく機能性やエコロジーなど多岐にわたる審査の結果、ドイツのデザイン賞「iF DESIGN AWARD 2020」および「Red Dot Design Award 2020」を受賞しました。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 TEL: 042 (661) 3071

UD
FONT

